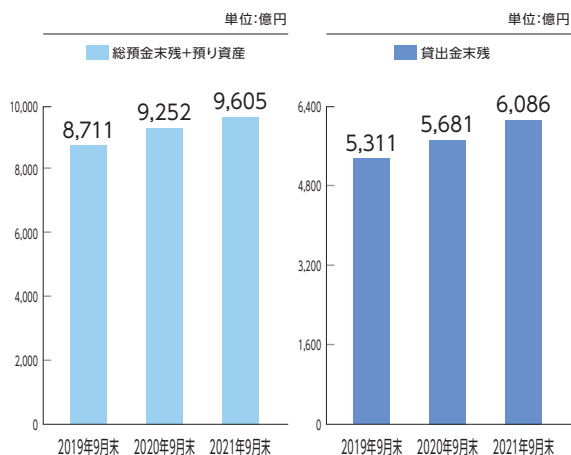


業績ハイライト

総預金及び預り資産・貸出金残高(単体)

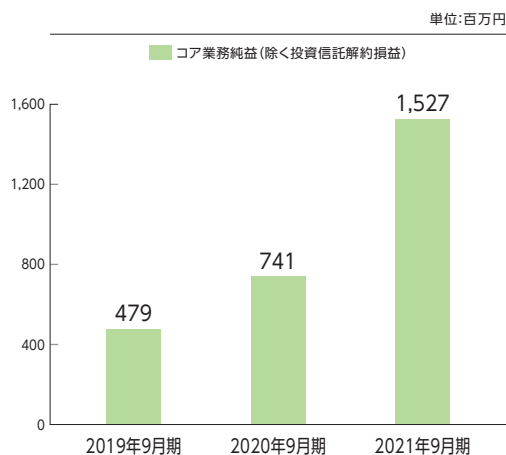
- ・総預金及び預り資産の合計は、2020年9月末比353億円増加し9,605億円となり、過去最高を更新しました。
- ・貸出金残高は、主に住宅ローンが増加したことなどから、2020年9月末比404億円増加し6,086億円となり、過去最高を更新するとともに期末残高6,000億円を突破しました。



コア業務純益(除く投資信託解約損益)

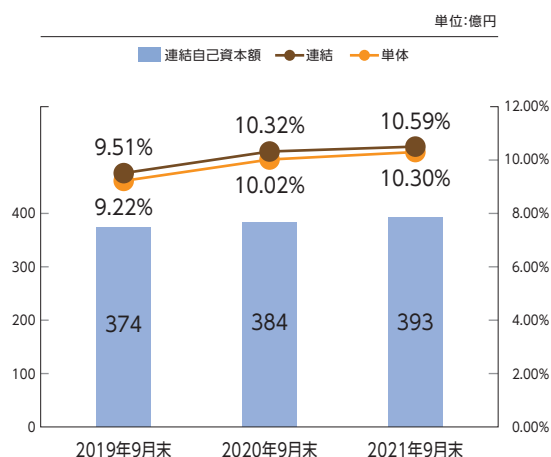
- ・コア業務純益(除く投資信託解約損益)は、貸出金利息の増加や、預り資産手数料等の増加等に伴う役務取引等利益の増加に加え、減価償却費用の減少等による経費の減少などにより、15億27百万円(2020年9月末比7億86百万円増加)となりました。

※「コア業務純益(除く投資信託解約損益)」とは、貸出業務など金融機関の本来の収益力をあらわす。
 「コア業務純益(除く投資信託解約損益)」=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益-投資信託解約損益



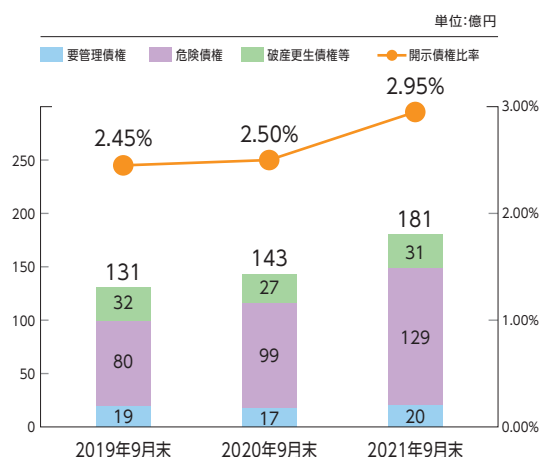
自己資本比率(国内基準)

- ・自己資本比率は、連結で10.59%(2020年9月末比+0.27ポイント)、単体で10.30%(2020年9月末比+0.28ポイント)となりました。国内基準の基準を大きく上回っており健全性を維持しております。



開示債権比率(単体)

- ・金融再生法による開示債権比率(単体)は2.95%(2020年9月末比+0.45ポイント)となりました。



※金額は単位未満四捨五入